بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

イスラームの英雄

第 12 巻

ムアーズ・ブン・ジャバル

ハラールとハラームに最も通じた教友 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

فَتَعَٰلَى ٱللَّهُ ٱلْمَلِكُ ٱلْحَقُّ ۗ وَلَا تَعْجَلْ بِٱلْقُرْءَانِ مِن قَبْلِ أَن يُقْضَىٰٓ إِلَيْكَ وَحْيُهُۥ ۖ وَقُل رَّبِّ زِدْنِى عِلْمًا ﴿١١٤﴾

「アッラーは，いと高くおられる真の王者である。あなた（預言者ムハンマド）に対する啓示が完了しない前に，クルアーンを急いではならない。寧ろ（祈って）言いなさい。「主よ，わたしの知識を深めて下さい。」」

ター・ハー章 20:114

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | facebook.com/QuranScienceMY

quranscience.my で無料のデジタル版を読むには、こちらをスキャンしてください

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の本。販売はできません。

謝辞

信仰する者と知識を授けられた者の位階を高められるアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たち、とりわけハラールとハラームに最も通じた教友であり、イエメンへの使者であったムアーズ・ブン・ジャバル رضى الله عنه に祝福と平安あれ。

この本を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『イスラームの英雄』第 12 巻は、ムアーズ・ブン・ジャバル رضى الله عنه の生涯を語ります。アカバで誓ったアンサールの若者、アッラーの使徒 ﷺ に愛された人、クルアーンの教師、イエメンの呼びかけ人であり裁判官、カリフたちの時代の法学の権威、そしてアムワースの疫病で殉教した教友です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間や動物は描かれていません。描かれているのは夜明けの*石の山道*で、*イエメンの高地*へと曲がりくねって続き、遠くの尾根には日干しれんがの塔の家々が見えます。アッラーの使徒 ﷺ はムアーズ・ブン・ジャバルを教師、裁判官、呼びかけ人としてイエメンへ遣わし、出発のときには彼のそばを歩きながら助言を与えられました。

道のかたわらには*開かれた本をのせた木の書見台*があり、*インク壺と葦のペン*が添えられています。ハラールとハラームに最も通じた教友ムアーズが携えた知識の象徴です（『ティルミズィー』3791）。

道を照らす夜明けの光は、クルアーンが教える祈りを象徴しています。「主よ、わたしの知識を増して下さい」（ター・ハー章 20:114）。

下部の*濃紺の帯*は*細い金色の線*で縁取られ、著者名が記されています。『イスラームの英雄』のすべての表紙をそろえるため、第 1 巻から第 11 巻と同じデザインです。

目次

ムアーズ・ブン・ジャバル 6
1. ムアーズ・ブン・ジャバルとは誰か 7
2. アカバからバドルへ 8
3. アッラーの使徒ﷺの後ろに乗って 9
4. 「ハラールとハラームに最も通じた者」 12
5. クルアーンの教師 14
6. 「アッラーにかけて、私はあなたを愛している」 16
7. 善の門と舌の危険 18
8. たしなめられたイマーム 20
9. アッラーの使徒ﷺのイエメンへの使者 21
10. 「容易にし、難しくしてはならない」 23
11. 最後の別れ 24
12. ハディース「どのように裁くのか」 25
13. カリフたちの時代のウンマの法学者 26
14. アムワースの疫病での殉教 27
15. 審判の日の学者たちの先導者 29
16. ムアーズ・ブン・ジャバルの人柄 30
17. ムアーズの物語の出典 31
18. ムアーズの物語に登場する人物 32
19. ムアーズの物語に登場する場所 33
20. ムアーズの生涯の年表 34
21. ムアーズについてよくある質問 35
22. 教訓とむすび 37
参考文献 38
支援と寄付 39

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。

ムアーズ・ブン・ジャバル

アッラーの使徒 ﷺ はある日、アンサールの一人の若者の手を取って言われました。*「ムアーズよ、アッラーにかけて、私はあなたを愛している」*（『アブー・ダーウード』1522）。その若者こそ、預言者 ﷺ が*ウンマの中でハラールとハラームに最も通じた者*と呼ばれた*ムアーズ・ブン・ジャバル* رضي الله عنه です。

ムアーズは若くしてイスラームに入り、*アカバ*の夜に誓い、*バドル*をはじめアッラーの使徒 ﷺ とともにすべての戦いに参加しました。預言者 ﷺ は彼を教師・呼びかけ人として*イエメン*に遣わされました。彼はシャームの*アムワース*の疫病で、まだ三十代前半のうちに殉教しました。

この電子書籍は*『イスラームの英雄』*シリーズの第 12 巻です。これまでの巻と同じく、まずクルアーンと真正なハディースから、次にスィーラと歴史の書から物語を集めました。すべての伝承に出典を示し、有名でも伝承経路の弱い話は正直に説明しています。

ムアーズの物語は知識の英雄の物語です。その剣はクルアーンと信仰の深い理解であり、その戦場はマディーナからイエメン、シャームへと広がる学びの場でした。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムアーズ・ブン・ジャバルとは誰か

彼のフルネームは*ムアーズ・ブン・ジャバル・ブン・アムル・ブン・アウス*・アル＝アンサーリー・アル＝ハズラジーで、マディーナのサリマ家の出身です。クンヤは*アブー・アブドゥッラフマーン*。伝記の書は彼を、顔の輝く美しい若者で、寛大で慎み深い人として描いています。

彼はマディーナでムスアブ・ブン・ウマイル（第6巻を参照）の呼びかけによって、十八歳ほどでイスラームに入りました。ヒジュラの後、アッラーの使徒 ﷺ は彼をアブドゥッラー・ブン・マスウードと兄弟の契りで結ばれました。

名前と称号

名前・称号	説明
ムアーズ・ブン・ジャバル	本名
アブー・アブドゥッラフマーン	クンヤ
アル＝アンサーリー・アル＝ハズラジー	ハズラジュ族サリマ家の出身
ハラールとハラームに最も通じた者	アッラーの使徒 ﷺ の称賛（『ティルミズィー』3791）
クルアーンの教師	クルアーンを学ぶよう命じられた四人の一人（『サヒーフ・ブハーリー』3758）

教訓

若さは学者となる妨げではありません。ムアーズはまだ若いうちに、教友たちが法判断で頼る人となりました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版

アカバからバドルへ

歴史の注：アカバの夜の若者

イブン・イスハークは、第二アカバの夜にアッラーの使徒 ﷺ に誓った七十数人のアンサールの中にムアーズ・ブン・ジャバルを数えています。その後、彼は*バドル*、ウフド、塹壕など、アッラーの使徒 ﷺ とともにすべての戦いに参加しました。それ以前には、サリマ家の若者たちとともに部族の偶像を壊し、ついにはサリマ家の指導者の一人アムル・ブン・アル＝ジャムーフがイスラームに入りました。

伝承の評価： スィーラの書でよく知られており、アカバとバドルの参加者名簿はイブン・イスハークが記録しています。

参照：
イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）；イブン・サアド『大列伝』。

教訓

信仰ある若者は部族を変えることができます。ムアーズと仲間たちの熱意は、部族の指導者が導かれるきっかけとなりました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アッラーの使徒ﷺの後ろに乗って

ムアーズはいつもアッラーの使徒 ﷺ の近くにいました。ある日、彼はロバに乗る預言者の後ろに同乗し、預言者 ﷺ は彼にタウヒード（神の唯一性）の大切な教えを授けられました。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 2856

حَدَّثَنِي إِسْحَاقُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ، سَمِعَ يَحْيَى بْنَ آدَمَ، حَدَّثَنَا أَبُو الأَحْوَصِ، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، عَنْ عَمْرِو بْنِ مَيْمُونٍ، عَنْ مُعَاذٍ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ كُنْتُ رِدْفَ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم عَلَى حِمَارٍ يُقَالُ لَهُ عُفَيْرٌ، فَقَالَ " يَا مُعَاذُ، هَلْ تَدْرِي حَقَّ اللَّهِ عَلَى عِبَادِهِ وَمَا حَقُّ الْعِبَادِ عَلَى اللَّهِ ". قُلْتُ اللَّهُ وَرَسُولُهُ أَعْلَمُ. قَالَ " فَإِنَّ حَقَّ اللَّهِ عَلَى الْعِبَادِ أَنْ يَعْبُدُوهُ وَلاَ يُشْرِكُوا بِهِ شَيْئًا، وَحَقَّ الْعِبَادِ عَلَى اللَّهِ أَنْ لاَ يُعَذِّبَ مَنْ لاَ يُشْرِكُ بِهِ شَيْئًا ". فَقُلْتُ يَا رَسُولَ اللَّهِ، أَفَلاَ أُبَشِّرُ بِهِ النَّاسَ قَالَ " لاَ تُبَشِّرْهُمْ فَيَتَّكِلُوا ".

訳：

ムアーズは言った。私はウファイルという名のロバに乗る預言者 ﷺ の後ろに同乗していた。彼は言われた。*「ムアーズよ、しもべに対するアッラーの権利とは何か、アッラーに対するしもべの権利とは何か、知っているか。」* 私は「アッラーとその使徒が最もよくご存じです」と言った。彼は言われた。*「しもべに対するアッラーの権利とは、しもべがアッラーを崇拝し、何ものもアッラーに並べないことである。アッラーに対するしもべの権利とは、何ものもアッラーに並べない者を罰しないことである。」* 私は「アッラーの使徒よ、この吉報を人々に伝えてもよいでしょうか」と言った。彼は言われた。「伝えてはならない。人々がそれに頼って（行いを怠って）しまうから。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：イスハーク・ブン・イブラーヒーム ← ヤフヤー・ブン・アーダム ← アブー・アル＝アフワス ← アブー・イスハーク・アッ＝サビーイー ← アムル・ブン・マイムーン ← ムアーズ・ブン・ジャバル رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ジハードと遠征の書、ハディース番号 2856。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:2856

学者たちは、ムアーズが知識を隠す罪を恐れ、禁止が人々に行いを怠らせないためのものだったと理解したうえで、亡くなる前にこのハディースを伝えたと述べています。

教訓

タウヒードはアッラーの最も大切な権利です。アッラーの使徒 ﷺ は知識を伝える知恵も教えられました。どの知識にも、ふさわしい時と伝え方があるのです。

「ハラールとハラームに最も通じた者」

アッラーの使徒 ﷺ は教友たちの長所を挙げられ、ムアーズを法学の知識で称えられました。

ハディース ― ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー、No. 3791

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، قَالَ حَدَّثَنَا عَبْدُ الْوَهَّابِ بْنُ عَبْدِ الْمَجِيدِ الثَّقَفِيُّ، قَالَ حَدَّثَنَا خَالِدٌ الْحَذَّاءُ، عَنْ أَبِي قِلاَبَةَ، عَنْ أَنَسِ بْنِ مَالِكٍ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " أَرْحَمُ أُمَّتِي بِأُمَّتِي أَبُو بَكْرٍ وَأَشَدُّهُمْ فِي أَمْرِ اللَّهِ عُمَرُ وَأَصْدَقُهُمْ حَيَاءً عُثْمَانُ وَأَقْرَؤُهُمْ لِكِتَابِ اللَّهِ أُبَىُّ بْنُ كَعْبٍ وَأَفْرَضُهُمْ زَيْدُ بْنُ ثَابِتٍ وَأَعْلَمُهُمْ بِالْحَلاَلِ وَالْحَرَامِ مُعَاذُ بْنُ جَبَلٍ أَلاَ وَإِنَّ لِكُلِّ أُمَّةٍ أَمِينًا وَإِنَّ أَمِينَ هَذِهِ الأُمَّةِ أَبُو عُبَيْدَةَ بْنُ الْجَرَّاحِ " .

訳：

アナス・ブン・マーリクによれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「私のウンマの中でウンマに最も慈悲深いのはアブー・バクル、アッラーの命令に最も厳格なのはウマル、最も真に慎み深いのはウスマーン、アッラーの書を最もよく読むのはウバイ・ブン・カアブ、相続の学に最も通じているのはザイド・ブン・サービト、***そしてハラールとハラームに最も通じているのはムアーズ・ブン・ジャバルである。*** すべてのウンマには信頼できる者がいる。このウンマの信頼できる者はアブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフである。」

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：ムハンマド・ブン・バッシャール ← アブドゥルワッハーブ・アッ＝サカフィー ← ハーリド・アル＝ハッザー ← アブー・キラーバ ← アナス・ブン・マーリク رضي الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』美徳の書、ハディース番号 3791。

等級： サヒーフ（真正）― ダールッサラーム版でサヒーフ。ティルミズィーは「ハサン・サヒーフ」と述べる。

典拠： sunnah.com/tirmidhi:3791

アッラーは、信仰する者と知識を授けられた者の位階を高められます。

抗弁する女章 58:11

يَٰٓأَيُّهَا ٱلَّذِينَ ءَامَنُوٓاْ إِذَا قِيلَ لَكُمۡ تَفَسَّحُواْ فِي ٱلۡمَجَٰلِسِ فَٱفۡسَحُواْ يَفۡسَحِ ٱللَّهُ لَكُمۡۖ وَإِذَا قِيلَ ٱنشُزُواْ فَٱنشُزُواْ يَرۡفَعِ ٱللَّهُ ٱلَّذِينَ ءَامَنُواْ مِنكُمۡ وَٱلَّذِينَ أُوتُواْ ٱلۡعِلۡمَ دَرَجَٰتٖۚ وَٱللَّهُ بِمَا تَعۡمَلُونَ خَبِيرٞ ١١

あなたがた信仰する者よ，集会のおりに（広く）席をあけなさいと言われた時は，直ぐ席を譲れ。アッラーはあなたがたのために（十分な）席を与えられる。また立ち上るよう言われた時は，直ぐ立て。アッラーはあなたがたの中信仰する者や，知識を授けられた者の位階を上げられる。本当にアッラーは，あなたがたの行う一切を熟知なされる。

訳：三田了一 — quran.com/58:11

教訓

教友にはそれぞれの長所がありました。ムアーズの長所は法学、つまりウンマを禁じられたことから守る知識でした。

クルアーンの教師

ムアーズは、アッラーの使徒 ﷺ がウンマにクルアーンを学ぶよう命じられた四人の教友の一人でした。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 3758

حَدَّثَنَا سُلَيْمَانُ بْنُ حَرْبٍ، حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، عَنْ عَمْرِو بْنِ مُرَّةَ، عَنْ إِبْرَاهِيمَ، عَنْ مَسْرُوقٍ، قَالَ ذُكِرَ عَبْدُ اللَّهِ عِنْدَ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عَمْرٍو، فَقَالَ ذَاكَ رَجُلٌ لاَ أَزَالُ أُحِبُّهُ بَعْدَ مَا سَمِعْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَقُولُ " اسْتَقْرِئُوا الْقُرْآنَ مِنْ أَرْبَعَةٍ مِنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ مَسْعُودٍ، فَبَدَأَ بِهِ، وَسَالِمٍ مَوْلَى أَبِي حُذَيْفَةَ، وَأُبَيِّ بْنِ كَعْبٍ، وَمُعَاذِ بْنِ جَبَلٍ ". قَالَ لاَ أَدْرِي بَدَأَ بِأُبَيٍّ أَوْ بِمُعَاذٍ.

訳：

マスルークは言った。アブドゥッラー・ブン・アムルのもとでアブドゥッラー（・ブン・マスウード）が話題になると、彼は言った。「私はアッラーの使徒 ﷺ がこう言われるのを聞いてから、ずっと彼を愛している。*『クルアーンの読誦を四人から学びなさい。アブドゥッラー・ブン・マスウード*（彼から始められた）、*アブー・フザイファの解放奴隷サーリム、ウバイ・ブン・カアブ、そしてムアーズ・ブン・ジャバルから。』*」（伝承者は）言った。「ウバイから始められたのか、ムアーズから始められたのか分からない。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：スライマーン・ブン・ハルブ ← シュウバ・ブン・アル＝ハッジャージュ ← アムル・ブン・ムッラ ← イブラーヒーム・アン＝ナハイー ← マスルーク ← アブドゥッラー・ブン・アムル رضي الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』預言者 ﷺ の教友たちの美徳の書、ハディース番号 3758。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:3758

集団章 39:9

أَمَّنْ هُوَ قَٰنِتٌ ءَانَآءَ ٱلَّيْلِ سَاجِدًا وَقَآئِمًا يَحْذَرُ ٱلْءَاخِرَةَ وَيَرْجُوا۟ رَحْمَةَ رَبِّهِۦ ۗ قُلْ
هَلْ يَسْتَوِى ٱلَّذِينَ يَعْلَمُونَ وَٱلَّذِينَ لَا يَعْلَمُونَ ۗ إِنَّمَا يَتَذَكَّرُ أُو۟لُوا۟ ٱلْأَلْبَٰبِ

﴿٩﴾

夜に眠らず目を覚ましている時に，サジダしあるいは立って礼拝にうちこんで，来世に備え，また主の御慈悲を請い願う者（がそうではない者と同じであろうか）。言ってやるがいい。「知っている者と，知らない者と同じであろうか。」（しかし）訓戒を受け入れるのは，思慮ある者だけである。

訳：三田了一 — quran.com/39:9

教訓

クルアーンは、伝承経路を持つ信頼できる師から学ぶべきものです。ムアーズは、このウンマのクルアーン読誦の伝承の最初の環の一人です。

「アッラーにかけて、私はあなたを愛している」

ムアーズの生涯で最も美しい瞬間の一つは、アッラーの使徒 ﷺ が彼への愛を告げ、一つの祈りを託されたときでした。

ハディース — スナン・アビー・ダーウード、No. 1522

حَدَّثَنَا عُبَيْدُ اللَّهِ بْنُ عُمَرَ بْنِ مَيْسَرَةَ، حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يَزِيدَ الْمُقْرِئُ، حَدَّثَنَا حَيْوَةُ بْنُ شُرَيْحٍ، قَالَ سَمِعْتُ عُقْبَةَ بْنَ مُسْلِمٍ، يَقُولُ حَدَّثَنِي أَبُو عَبْدِ الرَّحْمَنِ الْحُبُلِيُّ، عَنِ الصُّنَابِحِيِّ، عَنْ مُعَاذِ بْنِ جَبَلٍ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم أَخَذَ بِيَدِهِ وَقَالَ " يَا مُعَاذُ وَاللَّهِ إِنِّي لأُحِبُّكَ وَاللَّهِ إِنِّي لأُحِبُّكَ " . فَقَالَ " أُوصِيكَ يَا مُعَاذُ لاَ تَدَعَنَّ فِي دُبُرِ كُلِّ صَلاَةٍ تَقُولُ اللَّهُمَّ أَعِنِّي عَلَى ذِكْرِكَ وَشُكْرِكَ وَحُسْنِ عِبَادَتِكَ " . وَأَوْصَى بِذَلِكَ مُعَاذٌ الصُّنَابِحِيَّ وَأَوْصَى بِهِ الصُّنَابِحِيُّ أَبَا عَبْدِ الرَّحْمَنِ .

訳：

ムアーズ・ブン・ジャバルによれば、アッラーの使徒 ﷺ は彼の手を取って言われた。

「ムアーズよ、アッラーにかけて、私はあなたを愛している。アッラーにかけて、私はあなたを愛している。」 そして言われた。「ムアーズよ、あなたに勧める。すべての礼拝の終わりに、こう唱えることを決してやめてはならない。*『アッラーよ、あなたを念じ、あなたに感謝し、あなたを立派に崇拝できるよう、私を助けてください。』*」ムアーズはこれをスナービヒーに勧め、スナービヒーはアブー・アブドゥッラフマーンに勧めた。

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ウバイドゥッラー・ブン・ウマル・ブン・マイサラ ← アブドゥッラー・ブン・ヤズィード・アル＝ムクリー ← ハイワ・ブン・シュライフ ← ウクバ・ブン・ムスリム ← アブー・アブドゥッラフマーン・アル＝フブリー ← スナービヒー ← ムアーズ・ブン・ジャバル رضي الله عنه。

出典： イマーム・アブー・ダーウード『スナン』ウィトルの書、赦しを請う章、ハディース番号 1522。

等級： サヒーフ（真正）— アルバーニーが『サヒーフ・スナン・アビー・ダーウード』で真正と判定。

典拠： sunnah.com/abudawud:1522

この祈りは、同じ勧めとともに師から弟子へと今日まで受け継がれています。アッラーの使徒 ﷺ から始まった愛の連鎖です。

教訓

アッラーのために愛を伝えることはスンナです。弟子を愛する師の最良の贈り物は、いつまでも残る祈りと助言です。

善の門と舌の危険

ムアーズは楽園へ導く行いについていつも尋ねていました。ある旅で、宗教に関する最も重要なハディースの一つとなる答えを得ました。

ハディース — ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー、No. 2616

حَدَّثَنَا ابْنُ أَبِي عُمَرَ، حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ مُعَاذٍ الصَّنْعَانِيُّ، عَنْ مَعْمَرٍ، عَنْ عَاصِمِ بْنِ أَبِي النَّجُودِ، عَنْ أَبِي وَائِلٍ، عَنْ مُعَاذِ بْنِ جَبَلٍ، قَالَ كُنْتُ مَعَ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم فِي سَفَرٍ فَأَصْبَحْتُ يَوْمًا قَرِيبًا مِنْهُ وَنَحْنُ نَسِيرُ فَقُلْتُ يَا رَسُولَ اللَّهِ أَخْبِرْنِي بِعَمَلٍ يُدْخِلُنِي الْجَنَّةَ وَيُبَاعِدُنِي مِنَ النَّارِ . قَالَ " لَقَدْ سَأَلْتَنِي عَنْ عَظِيمٍ وَإِنَّهُ لَيَسِيرٌ عَلَى مَنْ يَسَّرَهُ اللَّهُ عَلَيْهِ تَعْبُدُ اللَّهَ وَلاَ تُشْرِكُ بِهِ شَيْئًا وَتُقِيمُ الصَّلاَةَ وَتُؤْتِي الزَّكَاةَ وَتَصُومُ رَمَضَانَ وَتَحُجُّ الْبَيْتَ " . ثُمَّ قَالَ " أَلاَ أَدُلُّكَ عَلَى أَبْوَابِ الْخَيْرِ الصَّوْمُ جُنَّةٌ وَالصَّدَقَةُ تُطْفِئُ الْخَطِيئَةَ كَمَا يُطْفِئُ الْمَاءُ النَّارَ وَصَلاَةُ الرَّجُلِ مِنْ جَوْفِ اللَّيْلِ " . قَالَ ثُمَّ تَلاَ: (تَتَجَافَى جُنُوبُهُمْ عَنِ الْمَضَاجِعِ) حَتَّى بَلَغَ: (يَعْمَلُونَ) ثُمَّ قَالَ " أَلاَ أُخْبِرُكَ بِرَأْسِ الأَمْرِ كُلِّهِ وَعَمُودِهِ وَذِرْوَةِ سَنَامِهِ " . قُلْتُ بَلَى يَا رَسُولَ اللَّهِ . قَالَ " رَأْسُ الأَمْرِ الإِسْلاَمُ وَعَمُودُهُ الصَّلاَةُ وَذِرْوَةُ سَنَامِهِ الْجِهَادُ " . ثُمَّ قَالَ " أَلاَ أُخْبِرُكَ بِمَلاَكِ ذَلِكَ كُلِّهِ " . قُلْتُ بَلَى يَا نَبِيَّ اللَّهِ قَالَ فَأَخَذَ بِلِسَانِهِ قَالَ " كُفَّ عَلَيْكَ هَذَا " . فَقُلْتُ يَا نَبِيَّ اللَّهِ وَإِنَّا لَمُؤَاخَذُونَ بِمَا نَتَكَلَّمُ بِهِ فَقَالَ " ثَكِلَتْكَ أُمُّكَ يَا مُعَاذُ وَهَلْ يَكُبُّ النَّاسَ فِي النَّارِ عَلَى وُجُوهِهِمْ أَوْ عَلَى مَنَاخِرِهِمْ إِلاَّ حَصَائِدُ أَلْسِنَتِهِمْ " .

訳：

ムアーズ・ブン・ジャバルは言った。私は旅で預言者 ﷺ とともにいた。ある朝、歩きながら彼の近くにいたので、私は言った。*「アッラーの使徒よ、私を楽園に入れ、火獄から遠ざける行いを教えてください。」* 彼は言われた。「あなたは大きなことを尋ねた。しかしアッラーが容易にされた者には容易なことである。アッラーを崇拝し、何ものもアッラーに並べず、礼拝を守り、ザカートを払い、ラマダーンに断食し、聖なる館へ巡礼することである。」そして言われた。「善の門を教えようか。断食は盾であり、

施しは水が火を消すように罪を消す。そして夜更けの人の礼拝である。」そして「彼らの脇腹は寝床を離れ……」から「……彼らの行ったことに対して」まで読まれた（跪拝章 32:16〜17）。そして言われた。「物事の頭とその柱とその頂を教えようか。」私は「はい、アッラーの使徒よ」と言った。彼は言われた。「物事の頭はイスラーム、その柱は礼拝、その頂はジハードである。」そして言われた。「そのすべてを支配するものを教えようか。」私は「はい、アッラーの預言者よ」と言った。彼は自分の舌をつかんで言われた。***「これを慎みなさい。」*** 私は言った。「アッラーの預言者よ、私たちは話したことで責めを問われるのですか。」彼は言われた。***「ムアーズよ、母があなたを失いますように（何ということを）！人々を顔から――あるいは鼻から――火獄に投げ込むのは、彼らの舌が刈り取ったもの以外にあろうか。」***

伝承経路： イマーム・ティルミズィーの伝承：イブン・アビー・ウマル ← アブドゥッラー・ブン・ムアーズ・アッ＝サンアーニー ← マアマル・ブン・ラーシド ← アースィム・ブン・アビー・アン＝ナジュード ← アブー・ワーイル・シャキーク・ブン・サラマ ← ムアーズ・ブン・ジャバル رضي الله عنه。

出典： イマーム・ティルミズィー『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』信仰の書、礼拝の神聖さの章、ハディース番号 2616。

等級： ハサン（良好）― ダールッサラーム版でハサン。ティルミズィーは「ハサン・サヒーフ」と述べる。

典拠： sunnah.com/tirmidhi:2616

教訓

どれほど多くの崇拝も、守られていない舌によってむだになることがあります。ムアーズは、良い問いが大きな知識の扉を開くことを教えています。

たしなめられたイマーム

ムアーズはアッラーの使徒 ﷺ とともに夜の礼拝をした後、自分の部族のもとへ戻って礼拝を導いていました。ある夜、彼が雌牛章か女性章のような長い章を読んだので、ラクダの仕事で疲れた一人の男が集団礼拝を離れました。男がアッラーの使徒 ﷺ に訴えると、彼は三度言われました。*「ムアーズよ、あなたは試練を招く者なのか。」* そして、至高者章、太陽章、夜章のような章を読むよう命じられました。後ろには老人、弱い人、用事のある人が礼拝しているからです（サヒーフ・ブハーリー705）。

ムアーズはこのたしなめを謙虚に受け入れました。学者たちはこの話を、イマームは後ろの人々の状況を考えて礼拝を軽くすべきだという根拠としています。

教訓

崇拝への大きな熱意には、人々への思いやりが伴わなければなりません。偉大な学者でも、たしなめを謙虚に受け入れるのです。

アッラーの使徒ﷺのイエメンへの使者

マッカ征服とタブークの遠征の後、アッラーの使徒 ﷺ はムアーズを教師、裁判官、ザカートの徴収者として*イエメン*へ遣わし、呼びかけの順序を教えられました。

ハディース ― サヒーフ・ブハーリー、No. 1395

حَدَّثَنَا أَبُو عَاصِمٍ الضَّحَّاكُ بْنُ مَخْلَدٍ، عَنْ زَكَرِيَّاءَ بْنِ إِسْحَاقَ، عَنْ يَحْيَى بْنِ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ صَيْفِيٍّ، عَنْ أَبِي مَعْبَدٍ، عَنِ ابْنِ عَبَّاسٍ ـ رضى الله عنهما ـ أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم بَعَثَ مُعَاذًا ـ رضى الله عنه ـ إِلَى الْيَمَنِ فَقَالَ " ادْعُهُمْ إِلَى شَهَادَةِ أَنْ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ، وَأَنِّي رَسُولُ اللَّهِ، فَإِنْ هُمْ أَطَاعُوا لِذَلِكَ فَأَعْلِمْهُمْ أَنَّ اللَّهَ قَدِ افْتَرَضَ عَلَيْهِمْ خَمْسَ صَلَوَاتٍ فِي كُلِّ يَوْمٍ وَلَيْلَةٍ، فَإِنْ هُمْ أَطَاعُوا لِذَلِكَ فَأَعْلِمْهُمْ أَنَّ اللَّهَ افْتَرَضَ عَلَيْهِمْ صَدَقَةً فِي أَمْوَالِهِمْ، تُؤْخَذُ مِنْ أَغْنِيَائِهِمْ وَتُرَدُّ عَلَى فُقَرَائِهِمْ ".

訳：

イブン・アッバースによれば、預言者 ﷺ はムアーズをイエメンへ遣わして言われた。

「アッラーのほかに神はなく、私がアッラーの使徒であるという証言に彼らを招きなさい。彼らがそれに従ったなら、アッラーが彼らに一昼夜に五回の礼拝を義務とされたことを知らせなさい。それにも従ったなら、アッラーが彼らの財産に施し（ザカート）を義務とされたこと、それは彼らの富裕な者から取られ、彼らの貧しい者に返されることを知らせなさい。」

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アースィム・アッ＝ダッハーク・ブン・マフラド ← ザカリーヤー・ブン・イスハーク ← ヤフヤー・ブン・アブドゥッラー・ブン・サイフィー ← アブー・マアバド ← アブドゥッラー・ブン・アッバース رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ザカートの書、ザカートの義務の章、ハディース番号 1395。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:1395

アッラーは、ウンマの一部の人々が信仰の理解を深め、戻って人々に教えるよう命じておられます。

悔悟章 9:122

۞ وَمَا كَانَ ٱلْمُؤْمِنُونَ لِيَنفِرُواْ كَآفَّةً ۚ فَلَوْلَا نَفَرَ مِن كُلِّ فِرْقَةٍ مِّنْهُمْ طَآئِفَةٌ لِّيَتَفَقَّهُواْ فِى ٱلدِّينِ وَلِيُنذِرُواْ قَوْمَهُمْ إِذَا رَجَعُوٓاْ إِلَيْهِمْ لَعَلَّهُمْ يَحْذَرُونَ ﴿١٢٢﴾

信者は，全員が一斉に出動すべきではない。各団のうち一部が，出動し，そして残留者は宗教に就いて理解を深め，皆が帰った時かれらに警告を与える。恐らく出動した者は注意するであろう。

訳：三田了一 — quran.com/9:122

教訓

呼びかけには順序があります。まずタウヒード、次に崇拝、そして財産の務め。ザカートはその土地の富裕な者から取られ、その土地の貧しい者に返されます。

「容易にし、難しくしてはならない」

ムアーズは一人で遣わされたのではありません。アブー・ムーサー・アル＝アシュアリーも同行し、それぞれがイエメンの一つの地域を任されました。

ハディース — サヒーフ・ブハーリー、No. 4341

حَدَّثَنَا مُوسَى، حَدَّثَنَا أَبُو عَوَانَةَ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْمَلِكِ، عَنْ أَبِي بُرْدَةَ، قَالَ بَعَثَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم أَبَا مُوسَى وَمُعَاذَ بْنَ جَبَلٍ إِلَى الْيَمَنِ، قَالَ وَبَعَثَ كُلَّ وَاحِدٍ مِنْهُمَا عَلَى مِخْلاَفٍ قَالَ وَالْيَمَنُ مِخْلاَفَانِ ثُمَّ قَالَ " يَسِّرَا وَلاَ تُعَسِّرَا، وَبَشِّرَا وَلاَ تُنَفِّرَا ".

訳：

アブー・ブルダは言った。アッラーの使徒 ﷺ はアブー・ムーサーとムアーズ・ブン・ジャバルをイエメンへ遣わされた。二人をそれぞれ一つの地域に遣わされた──イエメンは当時二つの地域に分かれていた。そして言われた。*「容易にし、難しくしてはならない。吉報を伝え、人々を遠ざけてはならない。」*

伝承経路： イマーム・ブハーリーの伝承：ムーサー・ブン・イスマーイール ← アブー・アワーナ ← アブドゥルマリク・ブン・ウマイル ← アブー・ブルダ。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』遠征の書、アブー・ムーサーとムアーズのイエメン派遣の章、ハディース番号 4341。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠： sunnah.com/bukhari:4341

同じ伝承の続きでは、二人の教友が互いを訪ね合い、ムアーズが夜を睡眠と夜の礼拝に分け、礼拝と同じように睡眠にも報奨を期待していると語ったことが伝えられています。

教訓

呼びかけの原則は、容易にし、吉報を伝えることです。異なる地域で働く呼びかけ人は、互いに訪ね合い、助言し合うべきです。

最後の別れ

ハディースの注：「おそらく今年の後は私に会えないだろう」

ムアーズによれば、彼がイエメンへ出発するとき、アッラーの使徒 ﷺ は助言を与えながら一緒に出られました。ムアーズは乗り物に乗り、アッラーの使徒 ﷺ はそのそばを歩いておられました。話し終えると、彼は言われました。 ***「ムアーズよ、おそらくあなたは今年の後、私に会えないだろう。そしておそらく、私のこのモスクと私の墓のそばを通ることになるだろう。」*** ムアーズはアッラーの使徒 ﷺ との別れの悲しみに泣きました。預言者はマディーナの方へ顔を向けて言われました。「人々の中で私に最も近い者は、誰であれ、どこにいようと、主を畏れる者たちである。」

伝承の評価： シュアイブ・アル＝アルナウートが『ムスナド』校訂で伝承経路を*サヒーフ*と判定しています。

参照：

アフマド・ブン・ハンバル『ムスナド』ハディース番号 22052。

その言葉は現実となりました。ムアーズがまだイエメンにいる間にアッラーの使徒 ﷺ は亡くなり、彼はこの世で再び使徒に会うことはありませんでした。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ への近さは、場所や血筋ではなく、主を畏れる心で測られます。主を畏れる者は、どこにいても使徒に近いのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハディース「どのように裁くのか」

ムアーズに関する最も有名なハディースの一つは、イエメンへ出発する前のアッラーの使徒 ﷺ との対話です。

ハディースの注：「自分の判断で努力します」

アッラーの使徒 ﷺ は尋ねられたと伝えられます。「訴えが持ち込まれたら、どのように裁くのか。」ムアーズは「アッラーの書によって裁きます」と言いました。「アッラーの書に見つからなければ？」「アッラーの使徒 ﷺ のスンナによって。」「アッラーの使徒 ﷺ のスンナにもアッラーの書にも見つからなければ？」「自分の判断で努力し、手を抜きません。」アッラーの使徒 ﷺ は彼の胸を叩いて言われました。「アッラーの使徒の使者を、アッラーの使徒が喜ぶことへと導かれたアッラーに讃えあれ。」

伝承の評価： アルバーニーと多くのハディース学者によれば*ダイーフ（弱い）*です。伝承者である「ムアーズの弟子のヒムスの人々」が不明だからです。イブン・アル＝カイイムのように、シャリーアの原則に合うとしてその意味を受け入れた学者もいます。アブー・ダーウード 3592

参照：

『アブー・ダーウード』3592；『ティルミズィー』1327。

このハディースの伝承経路は弱いものの、まずクルアーン、次にスンナ、そして努力による判断（イジュティハード）という原則は、努力して判断する裁く者のハディース（『サヒーフ・ブハーリー』7352、第 10 巻を参照）などほかの根拠によって、学者たちの一致するところです。

教訓

どれほど有名なハディースでも、その評価については正直でなければなりません。正しい原則に弱いハディースは必要ありません。

カリフたちの時代のウンマの法学者

アッラーの使徒 ﷺ の逝去後、ムアーズはアブー・バクルの時代にマディーナへ戻り、その後ジハードと教育のためにシャームへ出ました。

歴史の注：ムアーズについてのウマルの言葉

カリフ・ウマル・ブン・アル＝ハッターブはシャームのジャービヤで説教し、こう言ったと伝えられます。 ***「法学について尋ねたい者は、ムアーズ・ブン・ジャバルのもとへ行きなさい。」*** またウマルは「女性たちはムアーズのような人を産むことができない」と言い、臨終の近くに「もしムアーズが生きていたら、彼を後継者に任命しただろう」と言ったとも伝えられます。

伝承の評価： ジャービヤの説教はハーキムが真正と判定。ウマルのそのほかの言葉は、伝記の書に異論のある伝承経路で伝えられています。

参照：

タバラーニー『アル＝ムウジャム・アル＝アウサト』；ハーキム『アル＝ムスタドラク』；イブン・サアド『大列伝』；ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

教訓

カリフたちは学者を敬い、彼らに相談しました。ムアーズはまだ若くても、その知識によってウンマの拠り所となりました。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アムワースの疫病での殉教

ヒジュラ暦 18 年、パレスチナの*アムワース*で疫病が起こり、シャーム全体に広がりました。カリフ・ウマルは、疫病についての預言者の言葉を聞いてサルグから引き返しました（サヒーフ・ブハーリー5729）。司令官アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフがこの疫病で亡くなり（第 4 巻を参照）、ムアーズが軍の指揮を引き継ぎました。

歴史の注：慈悲としての疫病

ムアーズは人々に、この疫病はあなたがたの主の慈悲であり、あなたがたの預言者の祈りであり、あなたがた以前の正しい人々の死に方であると語ったと伝えられます。その後、息子アブドゥッラフマーンが感染して亡くなり、ムアーズ自身も感染しました。彼はヒジュラ暦 18 年、およそ三十三歳で亡くなりました。

伝承の評価： アムワースの疫病での死は歴史家の一致するところです。説教の詳細は『ムスナド』に異論のある伝承経路で伝えられています。

参照：

アフマド・ブン・ハンバル『ムスナド』；イブン・サアド『大列伝』；ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

ムアーズ自身が、信者の最後の言葉についてのアッラーの使徒 ﷺ の言葉を伝えています。

ハディース — スナン・アビー・ダーウード、No. 3116

حَدَّثَنَا مَالِكُ بْنُ عَبْدِ الْوَاحِدِ الْمِسْمَعِيُّ، حَدَّثَنَا الضَّحَّاكُ بْنُ مَخْلَدٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْحَمِيدِ بْنُ جَعْفَرٍ، حَدَّثَنِي صَالِحُ بْنُ أَبِي عَرِيبٍ، عَنْ كَثِيرِ بْنِ مُرَّةَ، عَنْ مُعَاذِ بْنِ جَبَلٍ، قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم " مَنْ كَانَ آخِرُ كَلاَمِهِ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ دَخَلَ الْجَنَّةَ " .

訳：

ムアーズ・ブン・ジャバルは言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。*「最後の言葉が『ラー・イラーハ・イッラッラー（アッラーのほかに神はなし）』である者は楽園に入る。」*

伝承経路： イマーム・アブー・ダーウードの伝承：マーリク・ブン・アブドゥルワーヒド・アル＝ミスマイー ← アッ＝ダッハーク・ブン・マフラド ← アブドゥルハミード・ブン・ジャアファル ← サーリフ・ブン・アビー・アリーブ ← カスィール・ブン・ムッラ ← ムアーズ・ブン・ジャバル رضي الله عنه。

出典： イマーム・アブー・ダーウード『スナン』葬儀の書、臨終の人に唱えさせる章、ハディース番号 3116。

等級： サヒーフ（真正）— アルバーニーが『サヒーフ・スナン・アビー・ダーウード』で真正と判定。

典拠： sunnah.com/abudawud:3116

教訓

ムアーズはアッラーの定めを満足して受け入れました。学者は言葉だけでなく、死の迎え方によっても教えるのです。

審判の日の学者たちの先導者

ハディースの注：「学者たちの前を行くムアーズ」

アッラーの使徒 ﷺ はこう言われたと伝えられます。 ***「ムアーズ・ブン・ジャバルは審判の日、学者たちの前を石を投げて届くほど先に進むだろう。」***

伝承の評価： アルバーニーが複数の経路を合わせて*ハサン*と判定しています。

参照：

イブン・サアド『大列伝』；アブー・ヌアイム『ヒルヤ』；アルバーニー『アル＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ』。

教訓

アッラーの御前での学者の位はとても高いものです。若くして亡くなったムアーズは、その誠実さと知識の深さによって学者たちの先を行くのです。

ムアーズ・ブン・ジャバルの人柄

ムアーズの物語は、知識と崇拝と良い人柄をあわせ持った若い学者の姿を描いています。

資質	彼の生涯からの例
法学の知識	ハラールとハラームに最も通じた者（『ティルミズィー』3791）
クルアーンの人	四人のクルアーンの教師の一人（『サヒーフ・ブハーリー』3758）
使徒 ﷺ に愛された人	「アッラーにかけて、私はあなたを愛している」（『アブー・ダーウード』1522）
問う熱意	楽園への行いについて（『ティルミズィー』2616）
謙虚さ	長い礼拝についてのたしなめを受け入れた
呼びかけ人	イエメンへの使者（『サヒーフ・ブハーリー』1395）
定めへの満足	アムワースの疫病で死去

教訓

ムアーズは、イスラームの英雄が戦場だけでなく、学びの場にもいることを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムアーズの物語の出典

この表は、読者が真正な話と単に有名な話とを区別できるよう、各物語の出典と評価をまとめたものです。

物語	出典	評価
しもべに対するアッラーの権利	サヒーフ・ブハーリー2856	サヒーフ
ハラールとハラームに最も通じた者	ティルミズィー3791	サヒーフ
四人のクルアーンの教師	サヒーフ・ブハーリー3758	サヒーフ
「あなたを愛している」	アブー・ダーウード 1522	サヒーフ
善の門と舌	ティルミズィー2616	ハサン
「試練を招く者なのか」	サヒーフ・ブハーリー705	サヒーフ
イエメンへの派遣	サヒーフ・ブハーリー1395	サヒーフ
「容易にしなさい」	サヒーフ・ブハーリー4341	サヒーフ
最後の言葉「ラー・イラーハ・イッラッラー」	アブー・ダーウード 3116	サヒーフ
最後の別れ	アフマド『ムスナド』22052	サヒーフ
学者たちの先導者	イブン・サアド；アル＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ	ハサン
「どのように裁くのか」	アブー・ダーウード 3592	ダイーフ
ウマルの言葉	タバラーニー；イブン・サアド	見解が分かれる

ムアーズの物語に登場する人物

人物	役割
ムスアブ・ブン・ウマイル	彼をイスラームに導いた呼びかけ人（第 6 巻）
アブドゥッラー・ブン・マスウード	兄弟の契りを結んだ教友
アムル・ブン・アル＝ジャムーフ	イスラームに入ったサリマ家の指導者
アブー・ムーサー・アル＝アシュアリー	イエメンへの同行者
アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ	シャームで彼が後を継いだ司令官（第 4 巻）
ウマル・ブン・アル＝ハッターブ	彼を法学の拠り所としたカリフ
スナービヒー	祈りの勧めを受け継いだ弟子
アブドゥッラフマーン・ブン・ムアーズ	息子。アムワースの疫病で死去

ムアーズの物語に登場する場所

場所	出来事
マディーナ	生まれ、イスラームに入り、学んだ地
ミナーのアカバ	第二アカバの誓い
バドル	アッラーの使徒 ﷺ とともの最初の戦い（ヒジュラ暦 2 年）
イエメン	教師、裁判官、ザカート徴収者（9〜11 年）
シャームのジャービヤ	ウマルの時代の法学の拠り所
パレスチナのアムワース	疫病（18 年）
ヨルダン渓谷	亡くなり葬られた地

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムアーズの生涯の年表

年	出来事
ヒジュラ前約 20 年	マディーナに生まれる
預言者の使命第 12〜13 年	イスラームに入り、アカバで誓う
ヒジュラ暦 2 年	バドルに参加
3〜8 年	ウフド、塹壕、そのほかの戦い
9〜10 年	イエメンへ派遣される
11 年	預言者の逝去後、マディーナに戻る
13〜17 年	シャームでのジハードと教育
18 年	アムワースの疫病で死去、約 33 歳

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムアーズについてよくある質問

この章では、ムアーズ・ブン・ジャバル رضي الله عنه についてよく尋ねられる質問に答えます。答えは簡潔で、詳しくはこれまでの章にあります。

1. ムアーズのフルネームは？

ムアーズ・ブン・ジャバル・ブン・アムル・アル＝アンサーリー・アル＝ハズラジー。クンヤはアブー・アブドゥッラフマーン。

2. ムアーズはいつイスラームに入ったか？

ヒジュラの前、十八歳ほどで、ムスアブ・ブン・ウマイルの呼びかけによって。

3. アッラーの使徒ﷺはムアーズをどう評されたか？

ハラールとハラームに最も通じた者（『ティルミズィー』3791）。

4. しもべに対するアッラーの権利とは？

アッラーを崇拝し、何ものも並べないこと（『サヒーフ・ブハーリー』2856）。

5. ムアーズに託された祈りは？

「アッラーよ、あなたを念じ、あなたに感謝し、あなたを立派に崇拝できるよう、私を助けてください」（『アブー・ダーウード』1522）。

6. ムアーズのハディースで、すべての行いを支配するものは？

舌を慎むこと（『ティルミズィー』2616）。

7. ムアーズはどこへ遣わされたか？

教師、裁判官、ザカート徴収者としてイエメンへ。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

8. イエメンでのムアーズの同行者は？

アブー・ムーサー・アル＝アシュアリー。使徒 ﷺ は二人に「容易にし、難しくしてはならない」と言われた。

9. ハディース「どのように裁くのか」は真正か？

アルバーニーによれば伝承経路は弱いが、その原則はほかの根拠と一致している。

10. ムアーズはいつ、どのように亡くなったか？

ヒジュラ暦 18 年、シャームのアムワースの疫病で。

11. ムアーズは何歳で亡くなったか？

約三十三歳。

12. ムアーズの物語の最大の教訓は？

誠実な知識は、若くてもその人の位を高める。

教訓とむすび

ムアーズ・ブン・ジャバル رضى الله عنه の物語は、アカバで誓ったアンサールの若者に始まり、シャームで殉教した若い学者で終わります。彼が残した知識は今日まで受け継がれています。

教訓	ムアーズの物語から
まずタウヒード	しもべに対するアッラーの権利
知識は位を高める	抗弁する女章 58:11
アッラーのための愛	「アッラーにかけて、私はあなたを愛している」
舌を慎む	「これを慎みなさい」
容易にする	「容易にし、難しくしてはならない」
ハディースへの誠実さ	弱いハディースの評価を明らかにする
定めへの満足	アムワースの疫病での殉教

ムアーズにならいましょう。知識を愛し、信仰を深く理解するために尋ね、容易にして教え、すべての礼拝の後に彼に託された祈りを唱え続けることを。

インシャーアッラー、『イスラームの英雄』シリーズは、また別のイスラームの英雄の物語へと続きます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンと解釈

聖クルアーン、ウスマーン版の本文と三田了一訳。quran.com

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈』（ター・ハー章 20:114；抗弁する女章 58:11；集団章 39:9；悔悟章 9:122）。

ハディース

サヒーフ・ブハーリー 705、1395、2856、3758、4341、5729。sunnah.com/bukhari

スナン・アビー・ダーウード 1522、3116、3592。sunnah.com/abudawud

ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー 2616、3791。sunnah.com/tirmidhi

アフマド・ブン・ハンバル『ムスナド』ハディース番号 22052。

アルバーニー『アル＝スィルスィラ・アッ＝サヒーハ』。

スィーラ・歴史・伝記の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークの伝承）。

イブン・サアド『大列伝』（ムアーズ・ブン・ジャバルの伝記）。

アブー・ヌアイム・アル＝アスバハーニー『ヒルヤ・アル＝アウリヤー』。

ザハビー『高貴なる人々の伝記』。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『教友識別の書（アル＝イサーバ）』。

Wikipedia「Mu‘adh ibn Jabal」。en.wikipedia.org/wiki/Mu%27adh_ibn_Jabal

QURANSCIENCE.MY の関連シリーズ

『イスラームの英雄』第 1 巻：ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブから第 11 巻：ヌサイバ・ビント・カアブまで。特に第 4 巻：アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフと第 6 巻：ムスアブ・ブン・ウマイル。quranscience.my/#pahlawan

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه 。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。

海外からのご寄付：上の PayPal QR コードを読み取るか、こちらへ paypal.me/quranscience